16

東洋シール 株式会社

https://www.toyo-seal.co.jp/



高いデザイン性と安心感が魅力

シールの価値を高めて、新しい仕事の創出へ

平成29年度 補助事業と具体的成果

■ 事業テーマ

高付加価値シール「フェイスペイントシール」の量産対応実現へ



■ 事業概要

設備導入により生産性の向上、納期短縮、低価格化を実現する。東洋シールが開発した「フェイスペイントシール」は絆創膏の素材を使用している。従来はオンデマンド機器の活用により、多品種小ロットで展開していたが、最近では価格面、納期面の問題から大ロットの要望に応えられないことが課題となっていた。今後は生産量の拡大、効率化を図り、大ロットの生産と高品質化に対応していく。また写真印刷やQRコード印刷などシールの高付加価値化も可能にする。

課題	取組	成果
●高付加価値のフェイスペイントシールの開発 ●短納期化 ●生産性向上	●高性能シール印刷機を導入 ●印刷の生産性を向上	●大ロット生産にも対応可能 ●納期が従来比3週間短縮 ●シール印刷の高付加価値化 （写真印刷、バーコード及びQRコード印刷、セパレーター印刷）

■ 業務内容

安全性を重視したフェイスペイントシール

同社は令和2年に創業60周年を迎えるシール印刷の会社。シール印刷から素材開発、紙製品の提案事業まで幅広く展開している。主力製品の「フェイスペイントシール」は絆創膏と同じ素材を使用している。素材そのものが医療用であるため、肌に直接触れる製品として安全性を確立している。スポーツやライブなどのイベントのほか、さまざまな企業のセールスプロモーションにも採用され、その用途は拡大している。また同社は多品種小ロット生産により、デザインのバリエーションなど、顧客の多様なニーズに応えてきたが、導入設備により大量生産、短納期での提供を実現した。

「紙の世界」から紙の可能性広げる

平成24年に新規事業としてオリジナルブランド「紙の世界」を起ち上げた。紙は使用用途によって多種多様にあるが、一般的に知られているものは少ない。そこで同社は何かの目的に合わせて紙を選ぶことに楽しさがあると考えた。「紙の世界」では、特殊紙を中心に紙の魅力や可能性を伝えている。その中でも注目されている「天然木の紙プロジェクト」では、天然木を突板シートに加工している企業の特許を活用し、極薄にスライスした天然の木を「天然木の紙」と題して、想い出の木を形に残すなどの活動をしている。製品化を通して大切な木を身近に感じてもらえることを目的としている。



紙を使ったワークショップも開催

■ 強みとビジョン

素材開発、用途開拓が強み

同社の強みは積極的なオリジナル素材の開発や用途開拓にある。素材開発では、日本で先駆けとなるトウモロコシを原料にしたバイオマスフィルムに粘着加工を施して、シールにすることに成功し製品化した。またオリジナル商品の「マスキングシール」は、使われている素材はマスキングテープと同じ和紙素材だが、ロール状ではなくシート状になっており、他社製品との差別化になっている。シートにすることでノートに挟む、カレンダーと一緒に製本するなど、テープではできなかった使用用途を開発した。



シールの用途開拓にも余念が無い

シールの果たす役割生み出す

導入設備でシールの高付加価値化ができるようになったことで、シールの活躍の場を広げていく。例えばシールにバーコードやQRコードで情報を付与することで、スポーツイベントやライブなどで来場者管理ができるなど、幅広い場面でシールが使われる機会を増やす試みを考えている。今までもDAZNと契約し、「フェイスペイントシール」が食べ物と引き替えになる証明シールに採用された実績がある。今後もシールが使われることで本来の目的を果たせる環境や人びとが楽しめるアイデアを生み出していく。



DAZN加入者限定イベントでも活躍

シールが使われる環境づくりに注力



当社は、令和2年に創業60年を迎えるシール印刷会社です。自社工場を保有し、日々印刷業界や包装資材業界などからの受注に対応しています。当社は下請けに依存している状況を打破すべく、近年さまざまな取り組みを行っています。低価格になりがちなシールに付加価値をつけて、シールが使われる「環境」を自ら創ることに注力しております。



代表取締役社長
杉本 哲也

- **社　名**　東洋シール 株式会社
- **代表者**　代表取締役社長　杉本 哲也
- **住　所**　〒537-0012 大阪市東成区大今里1−16−8
- **ＴＥＬ**　06−6974−1621
- **ＦＡＸ**　06−6971−2722
- **資本金**　10,000千円
- **従業員**　15名
- **主な取引先**　印刷及び包装資材関連企業、メディア関連企業、スポーツ関連企業
- **主な保有設備**　シールラベル印刷機、オンデマンドレーザープリンタ、オンデマンドUVインクジェットプリンタなど
- **主力製品**　シールなどの粘着製品、紙素材の企画・製造・販売、オリジナルブランド「紙の世界」、フェイスペイントシール

短納期　企画力　小ロットOK　オンリーワン技術　量産OK　試作OK　連携力

REPORTER'S EYE

同社は絆創膏の素材を使用したフェイスペイントシールやバイオマスラベル・シールなど、安心して使用でき、安全性や環境を意識した製品を取り扱っている。その根底にはユーザーが楽しめるモノを作るという社長の考えがある。フェイスペイントシールはプロスポーツやライブなど、みんなで使用するとその場の一体感を生み、場を盛り上げるなどコミュニケーションツールとしても便利だ。日常に楽しさを生むフェイスペイントシールの活躍の場は今後も広がっていくだろう。